



1歳を迎えたお子さんを紹介します。
※3月21日～4月18日生掲載



東町3丁目
高野 広翔くん
(H30.3.21生)



貝島町
牛久 凜莉ちゃん
(H30.3.22生)



花岡町
酒井 咲楽ちゃん
(H30.3.23生)



東町3丁目
深谷 真弥人くん
(H30.3.23生)



千渡
金沢 奏音くん
(H30.3.24生)



東町1丁目
村田 実桜里ちゃん
(H30.3.25生)



みなみ町
氏家 歌鈴ちゃん
(H30.3.26生)



千渡
三森 彩愛ちゃん
(H30.4.1生)



村井町
安井 奏人くん
(H30.4.7生)



千渡
野上 理一朗くん
(H30.4.8生)



府中町
寒川 樺月ちゃん
(H30.4.10生)



下沢
青柳 優磨くん
(H30.4.13生)



塩山町
赤羽根 悠斗くん
(H30.4.17生)



野沢町
浅野 蓮くん
(H30.4.18生)



野沢町
浅野 凜ちゃん
(H30.4.18生)



みなみ町
小太刀 春妃ちゃん
(H30.4.18生)

我が家のアイドル募集

締切は、1歳の誕生日です。お子さんの名前(ふりがな)・性別・誕生日・住所・電話番号・保護者氏名を書いた「メモ書き」と写真(裏面に名前明記)を、郵送、メール(5MB以内)、または直接広報広聴係(市役所本館3階)へお持ちください。
※写真は頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるものを用意してください。

〒322-8601 今宮町1688-1
広報広聴係「我が家のアイドル係」
メール koho@city.kanuma.lg.jp

右のQRコード
からもアクセス
可能



100歳万歳!

おめでとうございます。



上野町 狐塚 隆雄さん(T8.5.31生)

ようこそ! かぬまへ

鹿沼に魅せられ、移住された皆さんを紹介します。



ガトーバスク。
いちごなど季節
の果物も使い、
素朴ながら奥深
い味わい。 ▶

市役所近くの路地裏に、新しくオープンした小さな菓子店「おやつsirimiri」。

東京で飲食店などのスタッフとして働いていた小澤さん。カフェ巡りの際に訪れた鹿沼で出会ったのが、路地裏にあった空き物件でした。「お菓子づくりの工房を持ちたい」というかねてからの夢を叶えるため、移住を決心。開店の準備に奔走しました。

3月には鹿沼版地域おこし協力隊員にも任命され、そのなりわいを通して鹿沼のPRも担う小澤さん。鹿沼の印象については、都市圏との距離も遠過ぎず、押し付けがましくないが、困っている人には進んで手を差し伸べる地域性があり、住みやすい「ちょうどいい場所」だと話します。この町で出会った人とのつながりも大切にしながら、これからもみんなが笑顔になれるようなお菓子づくりを続けていってくださいね。



あゆみ
小澤 亜由美さん (40歳・下田町)

福岡県出身。
今年5月に、バスク地方の焼き菓子・ガトーバスクを中心としたお店「おやつsirimiri」(上材木町1741-2)をオープン。お店は現在、週末のみ営業。



市民俳壇

六月の風よ帽子は草木染

榆木町 上野佐喜子

鯉のぼり揚がりて一戸妣の里

上野町 神山 忠夫

桜蕊降る廢校の庭染めて

引田 斎藤 良明

俳友を薫風に寄せ送り出す

中田町 高内シヅエ

竹の子を掘る親不知抜くように

万町 海原ゆう子

空に咲き川に流れる花火かな

栄町一丁目 中荒井弘美

池ノ森絵手紙教師桜描く

みなみ町 田村 右品

長閑かなる令和に馴れし筆の日

坂田山三丁目 角田 敏枝

市民歌壇

小林 夏江選

喜寿傘寿歩み合わせて生きて来し善きも悪しきも夫との一世

口栗野 小暮 キヨ

朝もやを震わせ響く老鶯の声に劣らぬ子らの口笛

日吉町 小川 豊治

令和へと元号変わり防空壕に隠れし昭和の時代遠く

御成橋町二丁目 浅野 賀子

名前(ふりがな)住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着分)です。
〒322-8601 今宮町1-6-8-101
メール koho@city.kanuma.lg.jp
広報広聴係(応募部門を明記)

布川 武男選

いちごいちご通信 No.11

皆さんの周りのちょっと珍しい話題をご紹介します。

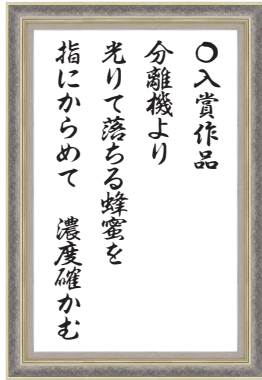
蜂蜜の輝き

大貫 春江さん(深程)

和歌を披露し合う「歌会」の中でも、年頭に行われるものを「歌会始」といい、宮内庁では、毎年、全国から和歌を募って「歌会始の儀」を行います。今年1月に行われた、平成最後の歌会始。大貫さんは、その入選者の1人として選ばれました。

応募は今回で2回目。テーマが、前回の応募時と同じ「光」であることに背中を押され、養蜂を題材とした短歌を応募しました。映像が思い浮かぶような描写に、職人の魂を感じる作品です。

歌会始当日は、緊張で足が震えながらも、何とかやり切ったという大貫さん。「めったにない経験ができた。この経験を糧に、これからも創作活動に精を出したい」と語ってくれました。



夫・悦夫さんとの共同作業で行っていた養蜂を題材に、蜂蜜が太陽の光を受けて輝く様子を詠んだ短歌作品です。



▲歌会始の賞状を手にする大貫さん。



▲入賞者10人が並び、皇居・松の塔の前で撮影。右から5番目が大貫さん。

身近な情報をお寄せください

皆さんの周りに、誰かに伝えたいような珍しい話題や楽しい話題はありませんか？ぜひ下記までご連絡ください。

連絡先 鹿沼営業戦略課広報広聴係

☎(63)2128・FAX(63)2292 メール koho@city.kanuma.lg.jp

市民川柳

令和なる御代の始まり寿ぐか風すがすがし希望を抱く
 上日向 島山 トミ
 若くして逝きし友との思い出が走馬灯のごと脳裏に浮かぶ
 西沢町 安達 和子
 初孫は五月八日が誕生日はや中学生なり我を見おろす
 久野 広田 文子
 ほそ道へ曲がれば白き燕子花気高く清楚に並び咲きいし
 西沢町 阿部 芳江
 風薫る皐月の朝を爽やかに鶯の声響き来るなり
 椋山町 島田 栄一

白石 洋 選

明日は雨膝の痛みに教えられ
 東町三丁目 松永 治子
 全部ボツ生きてる証拙誤字脱字
 日吉町 佐野 正晃
 整形外科内科眼科で今日は歯科
 西茂呂 円山ミツ子
 鹿沼市は令徳の街平和なり
 睦町 高村 光夫
 連休は懐までも疲れさせ
 加園 池田 大
 感激の出逢いと別れ新年度
 下武子町 広田 順一
 趣味ひとつおかげ様です老い忘れ
 千渡 手塚 イチ
 同じ字で辛い辛いで使い分け
 戸張町 福田 進亮